

## 電気電子工学科における技術者教育プログラムについて

### 1. 技術者教育プログラムとは？

非政府機関である日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education (JABEE)）が、「国際的に通用する技術者を育成する教育プログラム」と認定した教育コースであり、国際的基準（ワシントン協定）で「教育の質」が保証されたプログラムです（図1）。教育版 ISO とも言われています。

現在、ワシントン合意加盟国は、アメリカ、カナダ、イギリス、ニュージーランド、オーストラリア、アイルランド、南アフリカ、香港、日本、シンガポール、韓国、台湾、マレーシア、トルコ、ロシア、インド、スリランカであり、暫定加盟国がドイツ、パキスタン、バングラデシュです。欧米では長い歴史があり、今後、世界中に広まっていくと考えられています。

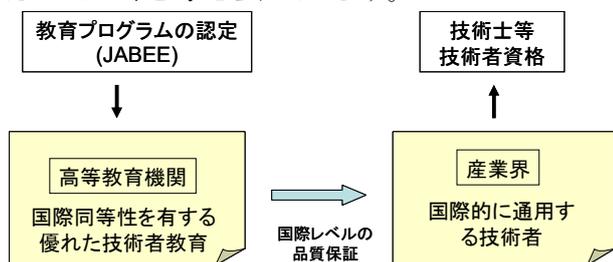


図1 技術者教育プログラムの役割

### 2. JABEE で認定された教育コースを修了すると？

専門技術の知識と能力を備えた実践的技術者であることが保証され、「修習技術者」の資格を得ることができます。また、申請により国際的に通用する「技術士補」の資格を取得することができます（図2）。さらに、日本には従来から「技術士」の制度がありますが、JABEEで認定された教育コースを修了すると、技術士第一次試験が免除されて、従来の技術士補に相当する「修習技術者」として直接実務修習に入ることができます。

また、JABEEは学士レベルの技術者教育の質の同等性を国家間で相互に認め合うことを取り決めたワシントン協定に加盟しており、JABEEから認定された技術者教育プログラムは国内のみならず国際的な水準であることが保証されます。技術者の資質を国際的なレベルで競うような分野の企業では、認定を受けた教育コースの学生を優先的に技術者として採用することになります。また、海外にて業務を行う場合、技術士の資格を持つ者のみが工事や施工または技術指導への従事を許可されるということがあります。

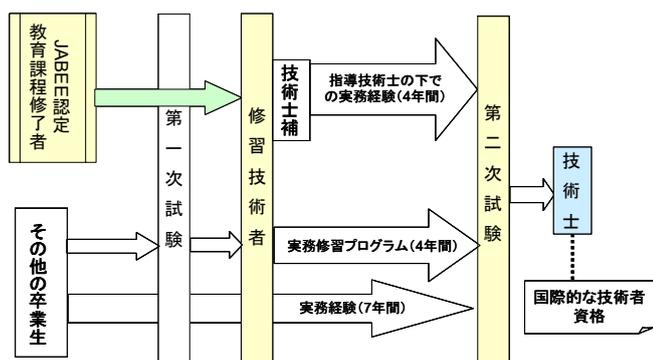


図2 JABEE認定教育課程修了から技術士への道

### 3. どのようにして JABEE 認定プログラムを修了するか？

国際的に通用する技術者を育成するための「学習・教育到達目標」を達成するために設定された「学習・教育の量」を満たし、またそのための「カリキュラム」に沿った科目の単位を取得すれば、この教育プログラムを修了したと認定されます。

### 4. JABEE で認定された教育コースは以下の能力を身につけるようカリキュラムが設計されています

- 地球の視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解
- 数学、自然科学および情報技術に関する知識とそれらを用いる能力
- 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを用いる能力
- 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- 論理的な記述力、口頭発表力、討論等のコミュニケーション能力
- 自主的、継続的に学習する能力
- 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- チームで仕事をするための能力

### 5. 電気電子工学科の技術者像と学習・教育到達目標

電気電子工学科は、次世代のエネルギー、デバイス、電子システム化技術の基本を習得し、発展し続ける科学技術の進歩に十分対応でき、国際社会の中でグローバルな目を持ってリードできる技術者の育成を目指します。電気電子工学科では、JABEEの要求する能力を身につけるために、次の学習・教育目標を設定しています。

#### 技術に堪能なる士君子となる素養の研鑽

- 社会や文化、環境などに関する知識と国際的な視野をもち、技術者として社会に対して責任ある判断ができる。
- 電気電子工学の専門領域を理解するのに必要な数学、自然科学、工学基礎知識を工学問題に適用できる。
- 電気電子工学に関する専門知識を用いて問題解決に必要な分析を行うことができ、「もの創り」に応用できる。
- 社会における工学的な課題を見つけ出し、内容を分析し、解決案を提案できる。
- 自分の意見を表現するための文章や説明資料を作成でき、相手に伝えることができ、他人の意見を論理的に理解できる。
- 自ら課題を設定し継続的に学習を進めることができる。
- チームの一員として自分のやるべきことを認識でき、メンバーと協力して計画的に行動できる。

表1. 学習・教育到達目標と基準1(2)の(a)-(i)との対応

	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
(A)	◎	◎			○				
(B)			◎						
(C)				◎	○	○	○	○	
(D)	○	○			◎				
(E)						◎		○	○
(F)				○			◎	○	
(G)						○		◎	◎

表2. 学習・教育到達目標とその評価方法および評価基準

学習・教育到達目標の大項目	関連する基準1の(a)-(i)の項目	関連する基準1の(a)-(i)の対応	評価方法および評価基準
(A)社会や文化、環境などに関する知識と国際的な視野をもち、技術者として社会に対して責任ある判断ができる。	(a) (b) (e)	◎ ◎ ◎	・教養教育科目の人文社会系の人文社会科目から6単位以上、グローバル教養科目から4単位以上を修得すること。 ・「電気電子工学序論」(必修)の1単位を修得すること。 ・「工学倫理」「工学と環境」(必修)の2単位を修得すること。 ・「卒業研究」(必修)の5単位を修得すること。 ・「安全工学」「知的財産権」「キャリア形成入門」「インターンシップ実習」(選択)
(B)電気電子工学の専門領域を理解するのに必要な数学、自然科学、工学基礎知識を工学問題に適用できる。	(c)	◎	・「解析学Ⅰ」「線形数学Ⅰ」「物理学Ⅰ」「物理学実験」「化学Ⅰ」「化学実験B」「情報リテラシー」「線形数学Ⅱ」「物理学Ⅱ」「物理学実験B」「情報処理基礎」「情報処理応用」。 ・「数値計算法」(必修)の23単位を修得すること。 ・「機械知能工学概論A」「機械知能工学概論B」「建設社会工学概論A」「建設社会工学概論B」「応用化学概論A」「マテリアル工学概論A」「総合システム工学概論A」「生命体工学概論A」「生命体工学概論B」(工学系他分野科目)から1単位以上を修得すること。 ・選択必修および選択科目は表3・表4参照。
(C)電気電子工学に関する専門知識を用いて問題解決に必要な分析を行うことができ、「もの創り」に活用できる。	(d) (e) (f) (g) (h)	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	・「電気電子工学実験入門」「電気電子工学実験Ⅰ」「電気電子工学実験Ⅱ」「電気電子工学PBL実験」「電磁気学Ⅰ」「電磁気学Ⅱ」「電磁気学Ⅲ」「電磁気学演習」「電気回路Ⅰ」「電気回路Ⅱ」「電気回路Ⅲ」「電気回路演習」「半導体デバイス」「電子回路Ⅰ」「電子回路Ⅱ」「電子回路応用演習」「論理回路」「エネルギー基礎工学」「プログラミング技法」(必修)の31単位を修得すること。 ・「卒業研究」(必修)の5単位を修得すること。 ・電気工学コースの学生は「電気電子工学実験ⅢB」「制御システム工学」(必修)の3単位を修得すること。 ・電気工学コースの学生は「電磁気学Ⅳ」「電気回路Ⅳ」「電気電子計測Ⅰ」「電気電子計測Ⅱ」「システム工学」「情報理論」「信号処理Ⅰ」から8単位以上、および「電気エネルギー伝送工学」「電気機器」「電気電子物性」「電力システム工学」「パワーエレクトロニクス」「電気電子材料」「集積回路工学」「電力応用」「電気法規・施設管理」「電機設計法」から12単位以上、さらに「信号処理Ⅱ」「通信基礎」「ネットワークインターフェース」「電波工学」「光通信工学」「通信ネットワーク」「組み込みシステム」「センサ・インターフェース工学」「組み込みオペレーティングシステム」「デジタル回路設計法」「コンピュータアーキテクチャ」「アログ回路設計法」「システムLSI」「組み込みシステム」から6単位以上を修得すること。 ・電気工学コースの学生は「電気電子工学実験ⅢA」「信号処理Ⅰ」(必修)の2単位を修得すること。 ・電子工学コースの学生は「電磁気学Ⅳ」「電気回路Ⅳ」「電気電子計測Ⅰ」「電気電子計測Ⅱ」「システム工学」「情報理論」「制御システム工学」から8単位以上、および「信号処理Ⅱ」「通信基礎」「ネットワークインターフェース」「電波工学」「光通信工学」「通信ネットワーク」「組み込みシステム」「センサ・インターフェース工学」「移動通信及び法規」「デジタル回路設計法」「コンピュータアーキテクチャ」「アログ回路設計法」「システムLSI」「組み込みシステム」から12単位以上、さらに「電気エネルギー伝送工学」「電気機器」「電気電子物性」「電力システム工学」「パワーエレクトロニクス」「電気電子材料」「集積回路工学」「電力応用」「電気法規・施設管理」「電機設計法」から6単位以上を修得すること。
(D)社会における工学的な課題を見つ出し、内容を分析し、解決案を提案できる。	(a) (b) (e)	○ ○ ◎	・「電気電子工学PBL実験」(必修)の2単位を修得すること。 ・「卒業研究」(必修)の5単位を修得すること。
(E)自分の意見を表現するための文章や説明資料を作成でき、相手に伝えることができ、他人の意見を論理的に理解できる。	(f) (h) (i)	◎ ○ ○	・選択必修英語科目(英語ⅠC-1、英語ⅠC-2、英語ⅡC-1、英語ⅡC-2、英語ⅢC-1、英語ⅢC-2、英語ⅣC-1、英語ⅣC-2、英語ⅤC-1、英語ⅤC-2、英語ⅥC-1、英語ⅥC-2、英語ⅦC-1、英語ⅦC-2、英語ⅧC-1、英語ⅧC-2)から6単位を修得すること。 ・必修外国語科目(ドイツ語ⅠA、ドイツ語ⅠB、ドイツ語ⅡA、ドイツ語ⅡB、ドイツ語ⅢA、ドイツ語ⅢB、ドイツ語ⅣA、ドイツ語ⅣB、中国語ⅠA、中国語ⅠB、中国語ⅡA、中国語ⅡB、中国語ⅢA、中国語ⅢB、中国語ⅣA、中国語ⅣB、フランス語ⅠA、フランス語ⅠB、フランス語ⅡA、フランス語ⅡB、フランス語ⅢA、フランス語ⅢB、フランス語ⅣA、フランス語ⅣB、韓国語ⅠA、韓国語ⅠB、韓国語ⅡA、韓国語ⅡB、韓国語ⅢA、韓国語ⅢB、韓国語ⅣA、韓国語ⅣB)から2単位以上を修得すること。 ・「専門英語Ⅰ」・「専門英語Ⅱ」(必修)の2単位を修得すること。 ・「電気電子工学PBL実験」(必修)の2単位を修得すること。 ・「卒業研究」(必修)の5単位を修得すること。
(F)自ら課題を設定し継続的に学習を進めることができる。	(g) (h)	◎ ○	・「電気電子工学PBL実験」(必修)の2単位を修得すること。 ・「卒業研究」(必修)の5単位を修得すること。
(G)チームの一員として自分のやるべきことを認識でき、メンバーと協力して計画的に行動できる。	(f) (h) (i)	○ ◎ ◎	・「電気電子工学PBL実験」(必修)の2単位を修得すること。 ・「卒業研究」(必修)の5単位を修得すること。 ・選択科目は表3・表4参照。

表3. 学習・教育到達目標を達成するために必要な科目の流れ1

学習・教育到達目標	授業科目名			
	1年		2年	
	前期	後期	前期	後期
A	教養教育科目人文社会系○			
	電気電子工学序論◎◎		キャリア形成入門△△ インターンシップ実習△△	
B	解析学Ⅰ◎◎ 線形数学Ⅰ◎◎ 物理学Ⅰ◎◎ 化学Ⅰ◎◎ 情報リテラシー◎◎ 図形情報科学◎◎	解析学Ⅱ◎◎ 線形数学Ⅱ◎◎ 化学実験B◎◎ 化学Ⅱ◎◎ 情報PBL◎◎ 数値形状モデリング△△	解析学Ⅲ◎◎ 物理学ⅡA◎◎ 物理学ⅡB◎◎ 物理学実験◎◎ 情報処理基礎◎◎	複素解析学◎◎ 基礎量子力学◎◎ 情報処理応用◎◎
	電気電子工学実験入門◎◎	電磁気学Ⅰ◎◎ 電気回路Ⅰ◎◎ 半導体デバイス◎◎	電気電子工学実験Ⅰ◎◎ 電磁気学Ⅱ◎◎ 電気回路Ⅱ◎◎ 電子回路Ⅰ◎◎ 論理回路◎◎	電気電子工学実験Ⅱ◎◎ 電磁気学演習◎◎ 電磁気学Ⅲ◎◎ 電気回路Ⅲ◎◎ 電気回路演習◎◎ 電子回路Ⅱ◎◎ プログラミング技法◎◎ エネルギー基礎工学◎◎
C	工学基礎科目・専門科目 ◎必修科目、○選択必修科目、△選択科目 前：電気工学コース 後：電子工学コース			
	学外工場実習見学△△			
D	英語ⅤC◎◎			
	英語ⅥC◎◎			
E	英語ⅠC◎◎、ⅡC◎◎	英語ⅢC◎◎、ⅣC◎◎	英語ⅦA◎◎ 英語ⅦB◎◎、ⅦC◎◎、ⅦD◎◎	
	英語ⅠT△△、2T△△、3T△△、4T△△			
F	ドイツ語Ⅰ◎◎、フランス語Ⅰ◎◎	ドイツ語Ⅱ◎◎、フランス語Ⅱ◎◎	ドイツ語Ⅲ◎◎、フランス語Ⅲ◎◎、ドイツ語Ⅳ◎◎、中国語Ⅳ◎◎、フランス語Ⅳ◎◎、韓国語Ⅳ◎◎	韓国語Ⅲ◎◎、韓国語Ⅳ◎◎
	インターンシップ実習△△			
G	海外研修Ⅰ△△、海外研修Ⅱ△△、海外インターンシップ実習△△、理数教育体験△△、サービラーニングⅠ△△、サービラーニングⅡ△△			

表4. 学習・教育到達目標を達成するために必要な科目の流れ2

学習・教育到達目標	授業科目名			
	3年		4年	
	前期	後期	前期	後期
A	教養教育科目人文社会系○			
	キャリア形成入門△△、工学と環境◎◎、専門英語Ⅰ◎◎	知的財産権△△、安全工学◎◎、専門英語Ⅱ◎◎	卒業研究◎◎	
B	インターンシップ実習△△			
	工学倫理◎◎			
C	機械知能工学概論A◎◎、機械知能工学概論B◎◎、建設社会工学概論A◎◎、建設社会工学概論B◎◎、応用化学概論A◎◎、マテリアル工学概論A◎◎、総合システム工学概論A◎◎、生命体工学概論A◎◎、生命体工学概論B◎◎	電気電子工学実験ⅢA△△◎ 電気電子工学実験ⅢB△△◎ 電磁気学Ⅳ◎◎ 電気回路Ⅳ◎◎ 電子回路応用演習◎◎ 電気電子計測Ⅰ◎◎ システム工学◎◎ 制御システム工学◎◎ 信号処理Ⅰ◎◎ 電気エネルギー伝送工学◎◎ 電気機器◎◎ 電気電子物性◎◎ 電機設計法◎◎	電気電子計測Ⅱ◎◎ 情報理論◎◎ 電力システム工学◎◎ パワーエレクトロニクス◎◎ 電気電子材料◎◎ 集積回路工学◎◎ 電力応用◎◎ 電気法規・施設管理◎◎ 信号処理Ⅱ◎◎ 光通信工学◎◎ 電波工学◎◎ コンピュータアーキテクチャ◎◎ センサ・インターフェース工学◎◎ 組み込みシステム◎◎ アログ回路設計法◎◎ システムLSI◎◎ 統計力学◎◎ 原子力概論△△ 電気電子工学PBL実験◎◎	移動通信及び法規◎◎ 電力応用◎◎ 電気法規・施設管理◎◎
	卒業研究◎◎			
D	学外工場実習見学△△			
	電気電子工学実験ⅢA△△◎ 英語ⅦA◎◎ 英語ⅦB◎◎、ⅦC◎◎、ⅦD◎◎ 英語ⅧA◎◎、ⅧB◎◎、ⅧD◎◎ 英語ⅧC◎◎、ⅧE◎◎、ⅧF◎◎ 英語ⅧG◎◎、ⅧH◎◎、ⅧI◎◎ 英語ⅧJ◎◎、ⅧK◎◎、ⅧL◎◎			
E	ドイツ語Ⅲ◎◎、中国語Ⅲ◎◎、フランス語Ⅲ◎◎、韓国語Ⅲ◎◎	ドイツ語Ⅳ◎◎、中国語Ⅳ◎◎、フランス語Ⅳ◎◎、韓国語Ⅳ◎◎	ドイツ語Ⅴ◎◎、中国語Ⅴ◎◎、フランス語Ⅴ◎◎、韓国語Ⅴ◎◎	ドイツ語Ⅵ◎◎、中国語Ⅵ◎◎、フランス語Ⅵ◎◎、韓国語Ⅵ◎◎
	電気電子工学PBL実験◎◎			
F	インターンシップ実習△△			
	専門英語Ⅱ◎◎			
G	海外研修Ⅰ△△、海外研修Ⅱ△△、海外インターンシップ実習△△、理数教育体験△△、サービラーニングⅠ△△、サービラーニングⅡ△△			